

# Apache Web サーバの設定 (サブドメイン): 2 . ログ出力先の変更 (サブドメイン)

仮想サーバの作成のみにて最低限の設定が完了となり、Web の公開も可能となりますが、

デフォルトの設定では、マスタドメインのログ出力先と同一のファイルへとログの出力が行われま

ず。

サブドメインにて設定した仮想サーバのログファイルを切り分けて運用したい場合には、下記を追加にて設定します。

1. まずは、ログ出力先ディレクトリを作成いたします。

[ その他 ] [ コマンドシェル ]

と進み、ディレクトリの作成コマンドをテキスト欄に入力しまして、

[ コマンドの実行 ] をクリックします。

ログイン名: root

Webmin

システム

サーバ

Apache Webサーバ

BIND DNS サーバ

CVS サーバ

Dovecot IMAP/POP3 Server

MySQL データベース サーバ

Postfix の設定

PostgreSQL データベース サーバ

Procmail Mail Filter

SSH サーバ

SpamAssassin Mail Filter

Vsftpd

Webalizer Logfile Analysis

ユーザ Eメールを読む

**その他**

HTTP Tunnel

PHP Configuration

Perl モジュール

SSH/Telnet ログイン

Text Login

アップロードとダウンロード

カスタム コマンド

**コマンド シェル**

システムおよびサーバのステータス

ファイル マネージャ

保護されたwebディレクトリ

モジュール設定

コマンド シェル

実行する Unix シェル コマンド下のテキスト フィールドに入力してください。後続のコマンドのディレクトリを変更するにはcd コマンドを

コマンドの実行

mkdir -p /var/log/httpd/sub

例としまして、下記のコマンドを実行しまして、ディレクトリを作成しております

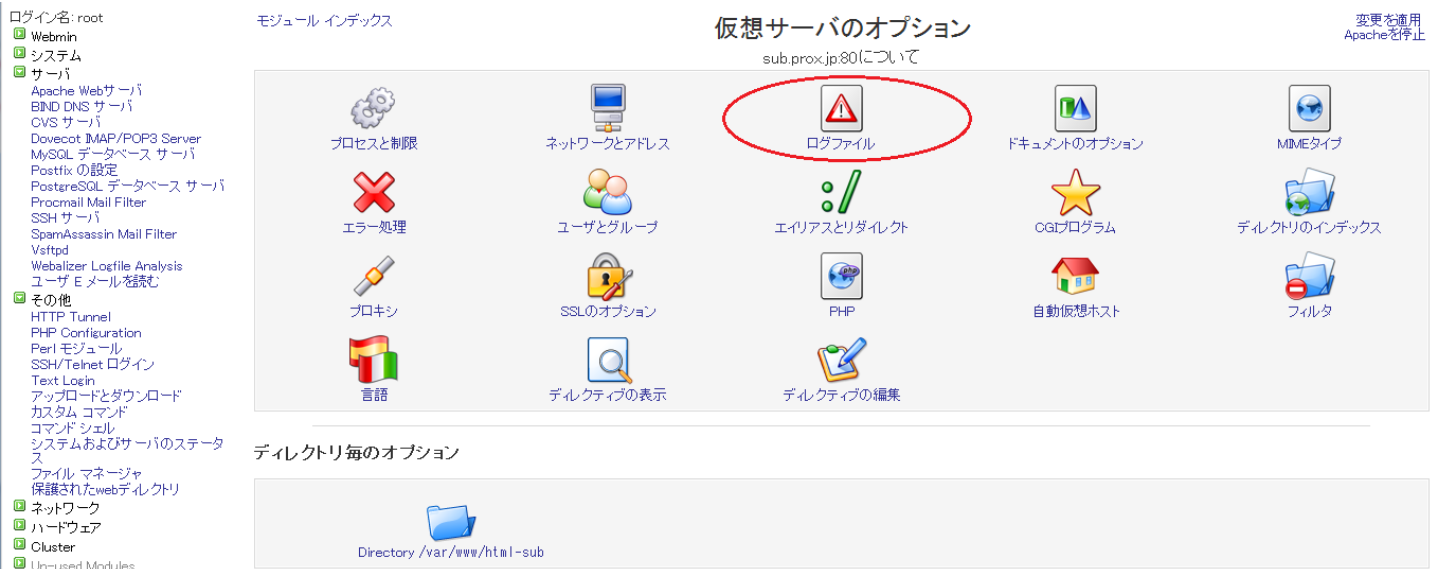
```
mkdir /var/log/httpd/sub
```

2. ログ出力先を切り分ける作業を Apache の設定より実施いたします

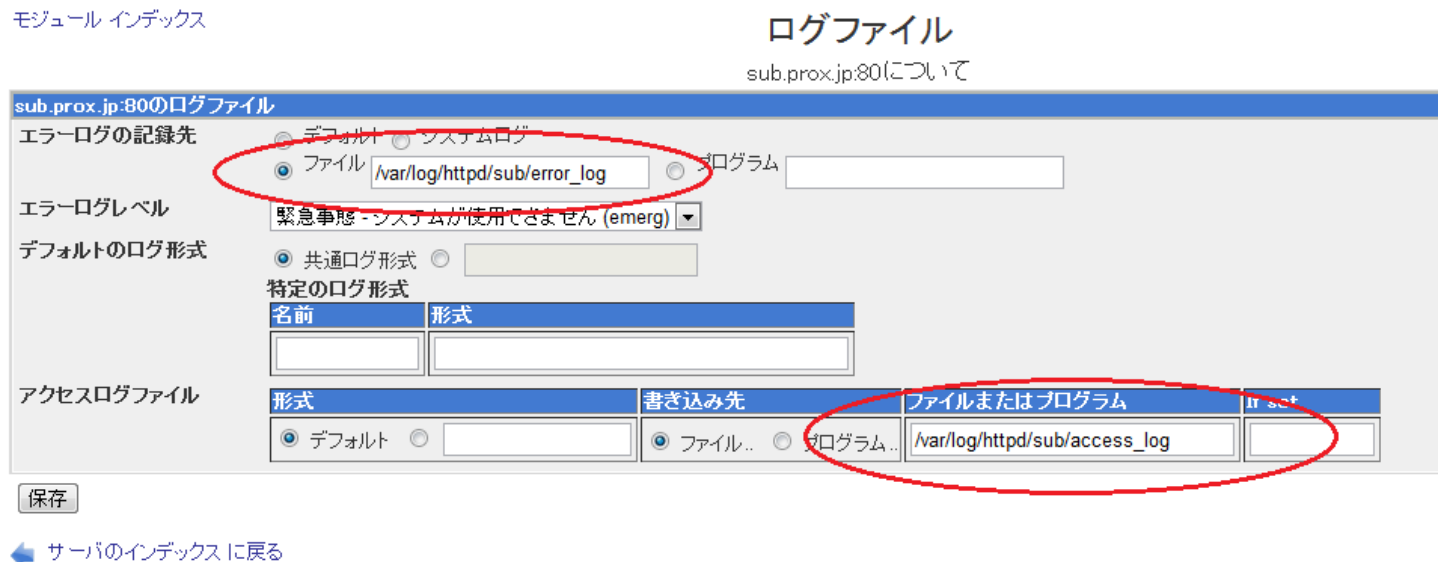
# Apache Web サーバの設定 (サブドメイン): 2 . ログ出力先の変更 (サブドメイン)

[サーバ] [Apache Web サーバ] [sub.prox.jp 仮想サーバ] と進みます。

3. 仮想サーバのオプション画面となりますので、一覧より [ログファイル] をクリックします。



4. ログファイルの設定画面となりますので、下記のように入力しまして、[保存] します。



エラーログの記録先 ファイル [ /var/log/httpd/sub/errorlog ]

アクセスログファイル ファイル [ /var/log/httpd/sub/accesslog ]

# Apache Web サーバの設定 (サブドメイン): 2 . ログ出力先の変更 (サブドメイン)

5. 画面左上の[変更を適用]をクリックし、設定を反映します。

一意的なソリューション ID: #1071

製作者: Prox System design

最終更新: 2015-06-05 09:21